



2022年7月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 東 名  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 文 彦  
(コード番号：4439 東証プライム・名証プレミア)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 関 山 誠  
(TEL 059-330-2151)

## マテリアリティの特定に関するお知らせ

当社は、2022年7月20日開催の取締役会において、中長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けてESG及びSDGsのマテリアリティを特定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

引き続き、マテリアリティに対する具体的な取り組みと目標を設定してまいりますので、決定次第、あらためてお知らせいたします。

また、マテリアリティについては、その進捗とともに外部環境等の変化等を踏まえ適宜見直しを行い、効果的な取り組みを推進してまいります。

### 記

#### 1. マテリアリティ特定のプロセス

##### (1) 社会課題の抽出

経営理念、ビジョンに基づきSDGs、GRIスタンダードをはじめとする各種国際的フレームワーク等を参考に、当社が取り組むべき社会課題候補を抽出しました。

##### (2) 抽出した社会課題の評価

抽出した社会課題に対して、経営陣及びサステナビリティ委員会を中心に、収益機会及びリスクの両面から検討を行いました。

##### (3) マッピングと整理

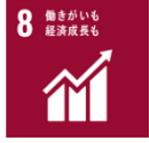
「ステークホルダーからの期待」と「当社グループの事業との関連性」をそれぞれ3段階で重要度を評価しました。重要度の高い項目をマテリアリティ候補とし、社会課題に対して正の影響（ポジティブインパクト）と負の影響（ネガティブインパクト）に整理しました。

##### (4) マテリアリティの特定

経営会議、サステナビリティ委員会、取締役会の審議を経て、当社のマテリアリティを特定しました。

## 2. マテリアリティ

当社グループは、企業理念の実現を通じて中長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指しております。3つのマテリアリティと11の取組項目は、企業理念「すべての人々に感動と満足を提供し続けます。」に結びついており、事業活動を通じてこれらの課題の解決に取り組んでまいります。

ESG	環境	社会	ガバナンス
マテリアリティ	地球環境への負荷低減	魅力ある企業への進化・深化	信頼性を高めるガバナンス・コンプライアンスの実現
取組項目	CO2削減サービスの提供	顧客との協創サービス	コーポレート・ガバナンス強化
	DX化推進	人財育成・活用	情報セキュリティ強化
	サーキュラーエコノミー	ダイバーシティ&イノベーション	コンプライアンスの徹底
	クリーンエネルギーの普及	企業風土改革、働き方改革	
SDGs	       	     	  

以上